



学校だより

第2号

令和7年12月22日発行

神奈川県立えびな支援学校

よつば祭、ご来場ありがとうございました！！

えびな支援学校は10周年を迎えた記念ライブを皮切りに「よつば祭」では作品展示やステージ発表、作業班活動など多彩なイベントを開催しました。当日は卒業生や保護者、地域の学校の生徒や事業所の方々など800名を超える皆様にご来場いただき、大盛況となりました。子どもたちは発表だけでなくゲームや買い物も楽しみ、笑顔があふれる一日でした。中でも「自分の作品を買ってもらえた！」と誇らしげに話す生徒の姿は忘れられない感動の瞬間です。こうした経験が自信や成長につながることを実感しました。

来年の午年は「勢い」「前進」「飛躍」を意味します。地域とのつながりを深め、子どもたちが社会に羽ばたく力を育む取り組みをさらに充実させてまいります。来年もわくわくする一年となりますよう、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

B部門 小学部2、3、4年生

10月31日にB小学部の2・3・4年生で「こどもの国」へ遠足に行ってきました。朝は雨が心配されましたが、天気はなんとかもち、子どもたちは元気いっぱい！ミニSLに乗って景色を楽しんだり、広い園内を歩きながら秋の自然を感じたりしました。好きな遊具で遊ぶ時間もあり、友達と楽しく過ごす姿が見られ、笑顔があふれるひとときとなりました。お昼にはおいしいお弁当を食べて、大満足！！心に残る、充実した一日でした。



高等部



12月1日に次年度生徒会役員立候補者による立会演説会、2日に投票、3日に開票結果の発表が行われました。



演説では、立候補者が「学校が好きで、よりよくしたい」という思いを、自分の言葉で堂々と伝えていました。1、2年生からは複数の生徒が会長、副会長、書記に立候補し、推薦人も含めとても意欲的でした。とくにふれあいタイムの時間は、選挙活動とその応援で各所を回り、にぎやかにアピールをしました。投票日には、海老名市選挙管理委員会の方々にご協力いただき、実際の選挙さながらの投票所を設置しました。投票する生徒たちは、少し緊張しながらも、自分たちの学校をよりよくしてくれる候補者を真剣に考え、投票箱に一票を投じていました。この経験を通じて、生徒たちが卒業後、社会の一員として選挙に主体的に参加できるようになることを願っています。

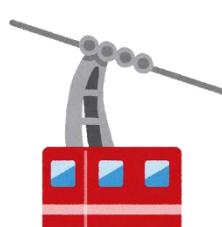


B部門 中学部3年生

10月30日～11月1日に静岡方面へ修学旅行に行ってきました。2日目に少し雨が降りましたが、7か所巡ることができ、きれいな富士山が歓迎してくれました。

「伊豆パノラマパーク」では、ロープウェーに乗って山頂からきれいな景色を見たり、「伊豆ぐらんぱる公園」では、好きな乗り物にお友達と一緒に乗ったりと、たくさんの経験ができました。

そして、美味しいご飯、お友達と入ったお風呂、布団を並べてお泊りしたことは、どれも中学校生活のかけがえのない思い出になりました。旅館で夕食を食べている時に、「修学旅行最高！」と言いながら、笑顔で過ごしている姿が印象的でした。



A部門 中学部 2・3年生

10月6日～7日に東京方面へ修学旅行に行ってきました。「キッザニア東京」では、好きな仕事を自分で受付しに行き、仕事を体験しました。子どもたちは友だちと相談しながら、どの仕事をするか一生懸命考えていました。仕事の帽子やヘルメットをかぶり、いざ体験へ・・・道具を使って、タイヤのねじを留めたり、車の整備の結果を紙に記録したり、ガス管整備に必要なねじを渡したりと、それぞれが最後まで一生懸命仕事を取り組むことができました。

ロマンスカーでは車窓の景色を集中して見たり、ホテルではおいしい食事を食べ、おしゃべりし、お泊りしたりして、子どもたちはとても楽しく笑顔で過ごすことができました。

